

令和5年度 保育園評価（自己評価シート） まとめ

今年度の園運営や保育全般を総合的に評価し次年度の指導計画に生かせる内容で記入してください。

1 保育目標

<p>* 心身ともに健やかな子ども 日常生活に必要な基本的な生活習慣、態度を身につけ、ひとりひとりの能力、育ちを大切に援助、育成する。</p> <p>* 感性豊かな子ども 四季を通して自然の中で、様々な体験を積み、豊かな感性を育てる。</p> <p>* 仲間とともに育つ子ども 友だちとの関わりの中で、お互いを認め合い、思いやりの心を育てる。</p>
---

2 職員確認事項

<p>1 職員間の和・輪を大切に、連携を密にして園共通の理解を深めるとともに、預かり施設との連携も深める。</p> <p>2 働きやすい職場をめざし、心穏やかに仕事を行う。</p> <p>3 保育士の資質の向上を目指す。</p>
--

3 今年度の重点目標

<p>①気持ちの良い挨拶をする。</p> <p>②身振り保育や自然を取り入れた保育に力を入れ、体幹を鍛える運動遊びを通して体の成長とともに命の大切さを教える。</p> <p>③健康・安全教育の推進を図り、良い習慣を身につけさせる。</p> <p>④保護者・地域との連携を図り、良い環境の中で保育が出来るよう努める。</p>
---

\* 「評価」の欄には（A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する）で記入する。

\* 「取組状況と改善方法」は来年度に向けての改善点を具体的に記入する。

評価分野	項目	評価	取組状況・改善方法
園運営	1 散歩や、行事などを通して地域の人と触れ合う機会を持つ保育に取り組んだか。	A1B9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対応は日々の送迎時などにしっかりと行い一年間過ごせた。</li> <li>・園庭開放は毎月行っていたが、参加人数は少なかった。</li> <li>・その家庭のニーズに合わせて対応することが大事と思った。</li> </ul>
	2 保護者からの相談内容を、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めたか。	A4B6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスだよりの配布やホームページなど情報発信が少なく、反省が残る。</li> <li>・地域の子どもの保育ニーズについて園内で共通理解していきたい。</li> </ul>
	3 園だよりの、クラスだよりの、連絡帳、掲示板などで園の情報などを発信できたか。	A3B5C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おさんぽマップを作成し、散歩の様子を掲示した。園では他のクラスの様子がわかり、保護者には具体的に子ども様子を伝えることができた。</li> </ul>
	4 地域の子どものための保育ニーズを把握し、園庭開放など積極的に取り組めたか。	A2B4C4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりの様子を観察し、連絡帳を通じて細かく伝えられるように努めた。</li> <li>・更に、地域との関わりが増えていけばよいと思う。</li> </ul>
保育理念	1 乳幼児期は、生涯にわたる『生きる力』の基礎が培われる時期であることを理解し、保育を実践しているか。	A2B9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具で遊ぶときには、必ず子どもたちに遊びたい玩具を聞いて2、3種類出すようにした。もっと、いろいろな内容や時間など、取り組むことができたように思う。</li> <li>・行事の中に、主体性を取り入れることが難しく、今後学んでいきたい。行事をすべて変更するのではなく、主体性をうまく取り入れながらできたらと思う。</li> </ul>
	2 子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てる関わりができたか。	A1B10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの子どもが主体的に遊びを選べること、充実したコーナー遊びを設ける等の遊びの環境が整えきれていないと反省する。今ある環境をもっと活用し、工夫する方法があったかもしれないと思う。</li> </ul>
	3 子どもが興味や関心を示し、主体的に関わろうとする環境を整えているか。	A1B5C4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人が遊びを決めてしまうことがあるので、子どもたちの興味や関心のある遊びをのびのびと楽しめる環境を作りたい。</li> <li>・一人ひとりの個性や性格を把握し、関われるようにした。</li> </ul>
	4 友だちとの関係の中で『個』の成長も促すことを意識して、生活や遊びを展開させたか。	A2B9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを主体にした保育について園全体で考えていく必要がある。</li> </ul>

保育の内容	1	保育過程をもとに、指導計画を意識して保育実践に努めたか。	A1B9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ごとに自然に触れる機会をもったが、動植物の飼育、栽培では、うまく育てられないことがあった。飼育のタイミングや栽培方法など、改善や学習が必要と感じた。</li> <li>・給食では、特産物や旬の食材を積極的に取り入れ、子どもたちに提供した。旬の食材そのものを子どもたちに見せて、触ってもらい、食育に繋がったと思う。</li> <li>・眠育への取組ができていなかった。</li> <li>・絵本を読む機会が少なかったように思う。</li> <li>・特別な支援の難しさを感じた。うまく成長へと導くことができたかどうか、これからも継続した学びが必要と思った。</li> </ul>
	2	季節感や日本の伝統的な行事など、指導計画の中に積極的に取り入れたか。	A1B10	
	3	『食育』や『眠育』の重要性を意識し、それぞれの環境などに工夫し取り組めたか。	A3B9C1	
	4	子ども達が十分に身体を動かせるよう、時間と場所を確保するなど配慮できたか。	A2B8	
	5	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの1日の流れを考えた保育ができたか。	A2B8	
	6	順番を守るなど約束やきまりの大切さを理解できるように、丁寧に説明できたか。	A2B9	
	7	身近な自然事象に触れたり、動植物を飼育・栽培し興味・関心を待たせることができたか。	A2B8C1	
	8	子どもが絵本や物語の内容と自分の経験を結びつけたり、想像や感動が広がるよう読み方を工夫したか。	A1B8C2	
	9	特別な支援が必要な子について理解を深め、職員間で共有しながら適切な支援に努めたか。	A2B9	
	10	地域の特産物や、季節の旬の食材を意識し、献立に取り入れたか。	A4B8	
保健・安全	1	子どもの日々の健康状態を把握し、他の職員との共通理解に努め対応できたか。	A4B7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの健康状態に関しては十分に把握するように努めた。職員会議を通して、全体での共通理解もできていた。</li> <li>・非常訓練については、様々に想定した訓練を行うことができた。</li> <li>・おむつ交換の環境がよくない。衛生に配慮した環境づくりが必要である。</li> <li>・配膳時の衛生面を更に気を付けたい。</li> <li>・園全体で更に危機管理意識を高めていく必要がある。</li> </ul>
	2	衛生面に気をつけながら、安全で保健的な環境を整えたか。	A5B6C2	
	3	感染症に関する知識を持ち、子どもや保護者に対応できたか。	A2B8	
	4	計画的に安全点検をするなど、危機意識をもって保育に臨んだか。	A2B9	
	5	訓練を通して自己防災意識の向上につながったか。	A3B7C1	
資質向上	1	保育士や調理員としての責務と誇りを自覚して人間性と専門性の向上に努めたか。	A2B10C1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の保育を大切にしながら過ごしたが、それに加えて保育の向上までは至らなかった。</li> <li>・保育材料等の整理整頓ができなかった。</li> <li>・全クラスの子とも関わって、やりがいを感じながら仕事をすることができた。園全体のことを考えながら自分は今何をすべきかというところが難しいと感じた。</li> <li>・保育士として子どもに対する理解を深め、責任をもって保育したい。</li> <li>・自分の学びの時間を確保する必要があると感じている。</li> </ul>
	2	自分の業務を振り返り、課題を見つけ、改善策を考え工夫して取り組めたか。	A1B11C1	
	3	積極的に研修に参加したり専門書を読むなど保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めたか。	A2B8C2	

その他(保育の向上・職員間を良くするための意見やアイデアなど)

・保育士は自分の保育感を押しつけるのではなく、それぞれの保育感を認め合い、良いところを擦り合わせてこそ、お互いを信頼し、尊敬し、より良い関係性や保育に繋がると感じる。また、研修会で新たな学びを職員間で共有し、昔の保育ややり方にこだわりすぎず、"子どもにとっては何がよいか"ということが一番を考え話し合っていたらと思う。